

カラダは使えば使うほど反応(こたえてくれる) RO* KU フェスティバル



10月23日、健康福祉センターでRO* KU フェスティバルが行われました。コーディネーショントレーニングでは、運動神経の向上や健康維持につながる体の使い方・調整力について指導されました。参加した皆さんは、普段はしない体の使い方、自分の体が思うように動かないことに大笑いしながら楽しんでいました。この事業は「ゆめスポしらたか RO* KU」が主催し、子どもからお年寄りまで約50人が参加しました。

エリアメールなど初の試みも実施 町総合防災訓練



10月16日、東根小学校周辺を会場に町総合防災訓練が行われました。今回の防災訓練では、町が導入した衛星電話を使った連絡体制の訓練や、ドコモの携帯電話に対して一斉にエリアメールを送るなど、東日本大震災を教訓に、より実践的な訓練が実施されました。災害に対しては、機器の整備も必要ですが、地域の助け合い・結びつきも重要です。今後も災害に強い町づくりを目指していかなければなりません。

乗って残そうフラワー長井線 フラワー長井線まつり



10月23日、荒砥駅でフラワー長井線まつりが行われました。当日は、ワンコインで全線片道一回100円で乗車できるということから、多くの家族連れや鉄道ファンなどが長井線に乗り込み、普段味わえない車窓の風景などを楽しんでいました。会場内では、ミニSLの試乗やよさこい、フラダンス、保育園児の和太鼓などでお祭り雰囲気は一層盛り上がり、売店のいも煮やうどんのいい香りが会場を包んでいました。

郷土料理に舌鼓! 町内各小学校で郷土食伝承事業



白鷹町食の文化街道推進会議が毎年開催している、郷土食伝承事業が10月、各小学校の6年生を対象に行われました。栗ご飯・いも煮・冷やする・かぼちゃのサラダなど地元でよく食べられる郷土食。子どもたちの中には、始めて食べる郷土食もあり、地元の味をお腹いっぱい食べることができました。大きくなっても白鷹の味を忘れないでと、おかわりする子どもたちを推進会議の皆さんはやさしく見守っていました。

地域への愛着と誇り

萩野獅子保存会が

山形ふるさと塾活動賞受賞

10月16日、萩野獅子保存会に山形ふるさと塾活動賞が授与されました。

萩野獅子保存会は、昭和53年に故小関太郎先生から獅子頭が贈呈されたことで結成しました。以降、大人のかたから指導を受け、町内の行事をはじめ国民文化祭や東京などで舞いを披露してきました。また、地域に残る獅子舞経験者のほとんどが獅子舞保存会に入り獅子舞を通して地域づくりに貢献しています。

このような地域活性化と子どもたちにふるさとへの愛着・誇りを育む活動が認められこのたびの受賞となりました。おめでとうございます。



賞状を手にする横山会長